



令和3年度 学校だより

# はがきた

第12号 令和4年3月17日

## 教育目標

集中して学び、生命と人権を守り、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育成する。  
『学ぶ子 守る子 がんばる子』

## 1年間お世話になりました！

3月が中旬となり、令和3年度の終わりが見えてきました。校庭の桜の木は、つぼみが徐々に膨らみを見せるなど、春らしさがたくさん見られるようになりました。保護者の皆様にはますます御健勝のことと思います。

今年度を振り返ってみると、どうしてもコロナウイルス感染症の話が中心となってしまっています。思うような学校生活が送れない中であって、児童は、感染症対策を意識し、できることを増やせるように懸命に活動しました。その甲斐があって、運動会や遠足・修学旅行、持久走大会、大縄跳び大会、6年生を送る会などたくさんの行事を実施することができました。授業では、時間や距離に気を付け学び合い学習を進めました。いろいろな困難に出会ったときの方がかえって大きな成長をするように感じます。児童の皆さんの大きな成長はとてもうれしいものでした。保護者の皆様の御理解御協力ありがとうございました。

今年度の学校だよりは今月号が最後となります。この1年間、私のつたない便りをお読み頂きましてたいへんありがとうございました。また、たいへんお世話になりました。



## 6年生の皆さん卒業おめでとう!!



明日、卒業式を迎え、6年生46名が本校を巣立ちます。6年生の皆さんは最上級生として素晴らしい手本を示してくれました。運動会の係の仕事や挨拶運動、委員会、縦割り班活動など挙げればきりがありません。その中でも、私が1番印象に残っているのは運動会の旗の演技「三原色」です。御覧頂いた方の中には、「ここまで出来るように成長するなんて本当にすごい」とおっしゃる方がいました。これらの成長は、自分の力であることはもちろんですが、おうちの方や地域の方、先生方を始めとする関わっていただいた全ての方のお陰だと思います。その感謝の気持ちを表しているように感じました。今後の活躍がさらに期待できますね。寂しさもありますが、御卒業おめでとうございます。

## 学力向上研修会

2/25(金)に学力向上研修会が行われ、2,3,5年生で研究授業を行いました。どのクラスも授業に積極的に取り組み、みんなで話し合い、課題を解決し、理解を深めていました。このような取組ができると学力が高まります。その成果は学習だけでなく生活にも表れています。



## クラブ紹介

2/24(木)に来年度のクラブ紹介がありました。本校では、4,5,6年生を対象に、年10回のクラブ活動を実施しています。体育的、文化的活動を中心とした7つのクラブがあります。この日は、5年生がパワーポイントを用いて、来年度初めて参加する3年生への説明を中心に各クラブの紹介を行いました。わかりやすい、素晴らしい説明でした。5年生はすでに立派なリーダーですね。

## 4月の主な行事予定

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 1(金) 新任者着任         | 19(火) とちぎっ子学習状況調査(4,5年) |
| 8(金) 登校指導 新任式 始業式  | 全国学力・学習状況調査(6年)         |
| 11(月) 入学式 通学班編制    | 腎臓検診1次                  |
| 12(火) 1年特別日課(~14木) | 20(水) 授業参観 保護者会         |
| 14(木) 委員会①         | PTA総会                   |
| 避難訓練①(火災・地震)       | 22(金) 家庭訪問(~28木)        |
| 18(月) 身体計測         | 29(金) 昭和の日              |



# ☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆

【6年生を送る会】



【学力向上研修会】



【クラブ紹介】



【ジェンダー川柳表彰】



## 一期一会～出会いにありがとう～

私の初任の学校は鹿沼市の中学校でした。相当前のことで、初めての教え子はもう50歳を超えています。その中学校には5年間勤務しました。鹿沼市は、それまでに行ったことがない初めての地であり、当然のことながら知っている人は一人もいませんでした。でも、そこでの生徒達との出会いは、今も大切な思い出です。

春は別れと出会いの季節。この時季になると「一期一会」という言葉をよく聞くとおもいます。「一期」は自分自身の生涯のこと、「一会」はただ1回の出会いのことで、広辞苑によると「一期一会」は、「生涯ただ一度きみえること、一生に一度限りであること」とあります。



この言葉の語源は、安土桃山時代、千利休が説いた茶の湯の心得にあるといわれています。訪れたお客様との出会いは一生に一度きりのもの。だからこそ大切に、ということだと思います。

そうすると、一つの疑問が生じてきます。それは、友達や家族など、毎日会っている人との出会いは「一期一会」ではないのか、ということです。いいえ、そんなことはありません。今このときは、一生にそのときただ一度きりのことなのです。



以前に出会っていたとしても、この日の出会いは、またそれとは全くの別のものです。時を戻すことはできませんし、今後同じ状況が続くこともありません。今出会っているこの一瞬が最初で最後なのです。果たして、この一瞬一瞬を大切にできているのでしょうか。初めて会う人だけでなく、いつも会っている人との出会いも大切にする、そういう生き方をしていきたいですね。

私は、多くの人と出会うことができるのでこの職業を選びました。人間関係はときに煩わしく大きな悩みとなることがあります。しかし、それとは比べものにならない感動を得られることがあります。今年も6年生を始め児童の皆さん、保護者の皆さん、地域の皆さんなどから多くの感動を頂きました。コロナウイルス感染症が猛威を振るった1年ではありましたが、その中でもうれしいや楽しいを味わいました。出会うことができた全ての方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。

※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。ぜひ御覧ください。